

村田 吉弘 氏のプロフィール



特定非営利活動法人日本料理アカデミー 理事長
一般社団法人和食文化国民会議 副会長
料亭菊乃井主人（三代目）

村田 吉弘 氏

— 「食」 および文化活動に関する受章歴 —

2012年 「現代の名工」「京都府産業功労者」
2013年 「京都府文化功労章」
2014年 「地域文化功労者（芸術文化）」
2015年 「NHK放送文化賞」受賞
「日本食普及の親善大使（農水省）」任命
2016年 文化庁認定「日本遺産大使」任命
2017年 「文化庁長官表彰」受賞
2018年 「黄綬褒章」受章
2018年 日本政府選出「文化功労者」受章

2013年12月、「和食：日本人の伝統的な食文化」は、国連教育科学文化機関（ユネスコ）より無形文化遺産に登録された。登録運動を仕掛けたのは、京都の老舗料亭「菊乃井」三代目主人の村田吉弘氏。運動のキッカケは『食を取り巻く国内の状況に危機感を覚えたこと』にあった。京都の料亭の主人らで構成される特定非営利活動法人日本料理アカデミーにて理事長を務め、政府や専門家に対して何度も和食の無形文化遺産登録の意義を訴えて、各所を奔走した。

この登録は、「一汁三菜を中心とした普通の和食こそ誇るべき文化という日本人へのメッセージになる」と期待している。村田氏は、「食を通じ社会の役に立つのが料理人の使命」として、和食文化の継承、発展に日夜尽力している。この他、和食を普及啓発する一般社団法人和食文化国民会議において、静岡文化芸術大学 熊倉功夫学長（当時）や料理評論家の服部幸應氏等とともに、同会議の趣旨に賛同する全国の幼稚園、保育所、小、中学校などで“和食給食”の普及をはじめ、各種活動にも取り組んでいる。

参考：北海道新聞 2013. 12. 10 掲載「2013 ひと」をもとに小職作成